

編集後記

★ 本編集後記を執筆している現在は10月最終週で、今週末には11月となります。本来であれば秋の深まりを感じるころですが、今年は季節の変わり目をあまり実感できません。朝晩こそ多少涼しくなったものの、日中は20℃を超える日もあり、いまだに夏服を完全にしまえずにいます。特に今年は例年より気温が高いようで、11月になるので衣替えをしなければならないと思いつつもまだできずにおります。

★ 私の唯一の趣味はゴルフですが、この時期でも半袖でプレーできる日があるほどです。朝は少し肌寒くても、昼には汗ばむ陽気となるため、毎回、どのような格好で行くか迷います。例年は、10月、11月といえは秋の風を感じながら長袖のウェアでプレーすることが多かったですが、今年はそのような季節らしさを味わう機会はまだ訪れておりません。

★ また、数年前に購入したお気に入りの高価なダウンジャケットの出番がほとんどないのも少し残念です。軽くて暖かく、デザインも気に入っていたのですが、昨年は結局一度しか着る機会がありませんでした。今年こそ思っていました、このままでは再びクローゼットの奥で冬を越すことになりそうです。

★ 気象庁の長期予測によれば、日本では今後も平均気温が上昇し、冬が短くなる傾向が続くといわれています。

す。すでに桜の開花は年々早まり、紅葉の時期も後ろへずれています。この先、日本の四季はどうなっていくのでしょうか。春と秋がますます短くなり、夏と冬が極端になるとの予測もあります。かつて当たり前に感じていた季節の変化が、将来は「懐かしい記憶」になってしまうのかもしれない。

★ 医師として日々臨床に携わっていると、外の天候がどうであれ、手術室や病棟では常に一定の環境に保たれているため病院の中で季節の移ろいを感じる機会は多くありません。それだけに、週末にゴルフ場で感じるわずかな風の冷たさや、木々の色づきに季節を見出すことが、今では貴重な時間になっています。自然の変化を五感で感じることは、忙しい日常の中で心身のリセットにもつながります。

★ 私は以前から夏から秋への変わり目が好きでした。表現が難しいのですが、少し肌寒さを感じると、空気が澄んできりっとしたように感じます。また秋の夕焼けを見ると、『夕焼け小焼け』の歌が頭に浮かんだり、何故か子どものころの石焼き芋を売るおじさんの声（知っている人は

少ないでしょうか？）を思い出したりします。「秋の夜長」という言葉を思い出しながら、少し寂しく、少しわくわくしたような感じになります。今年は昨年よりも忙しく、ゴルフに行く機会も減っているせいか、季節の移ろいを感じにくいのですが、せめて自然の中でのひとときに、かすかな秋の気配を探しながら、残り2ヵ月を過ごしたいと思います。

（稲葉 裕）



Allen B. Kanavel (1874~1938) 生田義和 画
2025-12

Y. Ikuta

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭	四宮謙一
	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人	大川 淳	
編集	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕	吉井俊貴	

臨床雑誌 整形外科 76巻・13号 (12月号, 第927冊) 2025年12月1日 発行
編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42-6 小 立 健 太
印刷所 東京都江東区亀戸七丁目2-12 三報社印刷株式会社

発行所 株式会社 南江堂 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660
https://www.nankodo.co.jp/ 営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036